

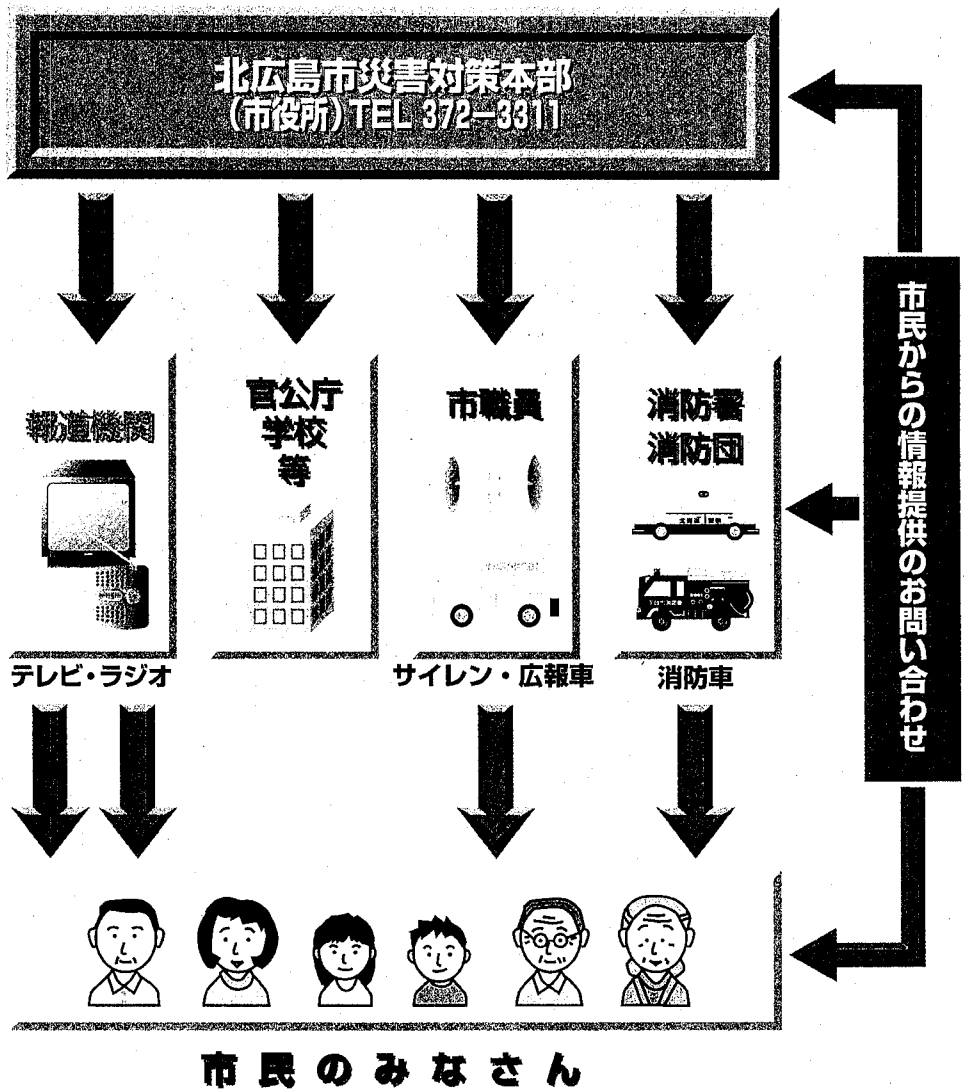
災害情報について

災害の発生やそのおそれがある時は、市から避難準備や避難勧告・避難命令が出されることがありますので、これらの情報に十分注意しましょう。



《情報の伝達経路》

状況に応じて、気象情報・洪水予警報(注意報・警報)と避難勧告・避難指示(命令)は、右図のような伝達経路で市民のみなさんに伝えられます。



危険!?と感じたら避難命令が出ていなくても自主的に避難してください。

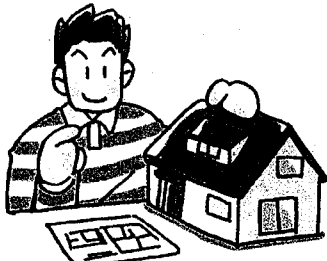
情報伝達編

その1
ひとメモ

- 災害時はブロック塀や自動販売機などの倒れやすいもの、崖や川べりなどの崩れやすい場所などには近づかないようにしましょう。
- 指定された避難場所に徒歩で避難するようにしましょう。荷物を持ちすぎると避難の妨げになります。
- うわさやデマに惑わされないようにしましょう。テレビ、ラジオ、市などからの情報を正しくチェックしましょう。

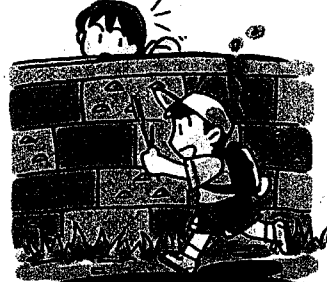
地震に 備える!

阪神・淡路大震災では、都市直下型地震の恐ろしさを実感しました。
もしものために...あなたの備えは万全ですか?



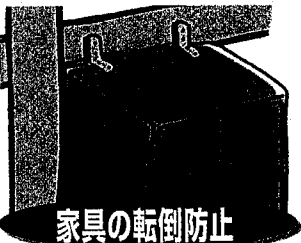
わが家の耐震診断

- 家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気
のブレーカー、家具の組み具合を把握する。



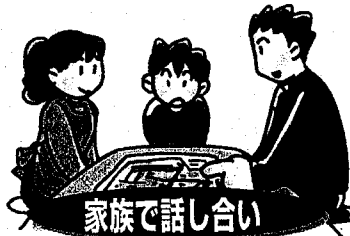
ブロック塀の点検

- ひび割れや壊れているところはないか。特
に通学路、避難路に面している所はしっかり
補強する。



家具の転倒防止

- 寝室、居間、乳幼児のいる部屋にはできる
だけ家具は置かない。
- 家具や屋外のガスボンベは、壁などにしっ
かり固定する。



家族で話し合い

- 家族の役割分担や集合場所を決める。
- はぐれた時の落ち合う場所を決める。
※「わが家の防災メモ」に書き込んでください。



食料の備蓄

- 普段から非常食3日分を含む7日分程度
の食料を準備しておく。
- 食料品の点検、入れ替えを忘れない。



飲料水の備蓄

- 1人1日3リットルの水を最低3日分用意する。
- いつも風呂に水をはっておく。

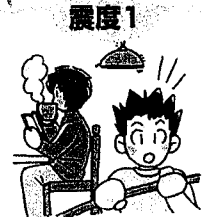
ひとひと

地震災害では、密集市街地で時的な安全を確保する一時避難場所 避難者を収容するための収容
避難所などの場所や経路等をあらかじめ地図上や実際に歩いてみて把握しておく必要があります。

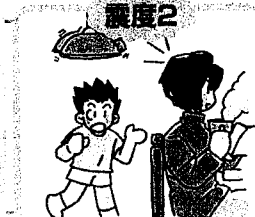
地震の震度



人は揺れを感じない。



屋内にいる人の一部が
わずかな揺れを感じる。



屋内にいる人の多くが
揺れを感じる。電灯など
がわずかに揺れる。



屋内にいる人のほとん
どが揺れを感じる。棚の
食器類が音を立てること
がある。



かなりの恐怖感がある。
電灯などが大きく揺れ、座
りの悪い物は倒れること
がある。

身の周りの環境を把握し、災害時での行動を想定してみましょう。

地震

実際に 起きたら?!

パニック状態になったときにとっさの判断は難しいものです。
次のことを参考に避難を心がけてください。

二次災害に注意を払い、落ち着いて避難しましょう。

自主防災活動
に参加
↓
18Pへ

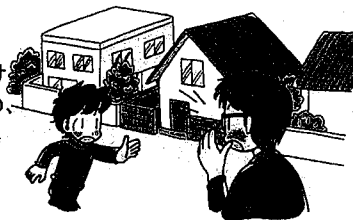
まず、身を守る

机の下などにもぐり、
身を守りましょう。



情報確認

近所の人と声をかけ
合って安全を確かめ、
ラジオなどから情報
を集めましょう。



かならず火の始末

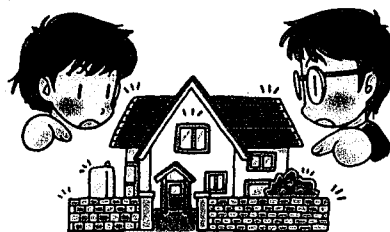
コンロなどの火を消す。
火が出ても落ち着いて
初期消火。



安全なら...

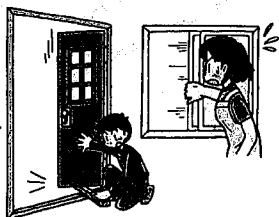
わが家の安全確認

火災、家屋の倒壊の危険や
ガス爆発等、二次災害の兆候
はないか。



出口を確保

家が傾いてドアが開か
なくならないように、
ずばやく窓や扉を開け
ましょう。



危険なら...

避難場所へ急ぐ!!

➡ 9P~14Pへ

「わが家の防災メモ」を
確認しましょう

➡ 裏表紙

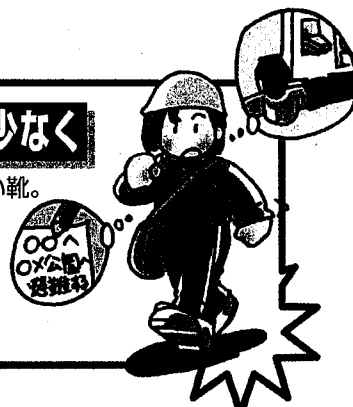
避難は徒歩で、持ち物は少なく

動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。

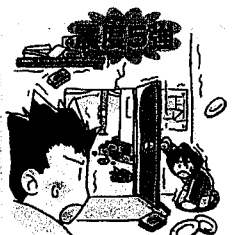
ガスの元栓を閉め、

電気のブレーカーを切る。

家族への連絡メモをのこす。



多くの人が身の安全を
図ろうとする。棚の食器
類が落ちることがある。



多くの人が行動に支障
を感じる。タンスなどの
重い家具が倒れることが
ある。



立っていることが困難
になる。開かなくなるドア
が多い。



立ってられない。固
定しない家具のほとんど
が移動、転倒する。戸が
外れて飛ぶことがある。



揺れにほんろうされ、自
分の意志で行動できない。
ほとんどの家具が大きく
移動し、飛ぶものがある。



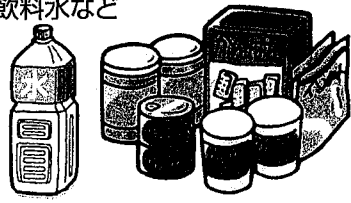
災害の場合に備えて、必要なものを準備しておきましょう。チェックリストで、定期的に点検をしましょう。

いざ避難という時のために、万全の準備を心がけましょう。

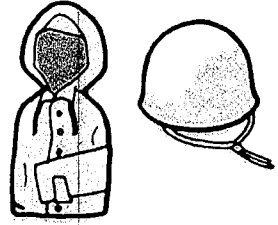
非常持出品

● 食料品

カンパン、缶詰、インスタント食品
飲料水など

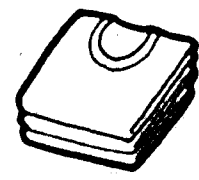


● 雨具、ヘルメット



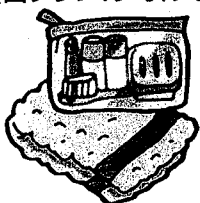
● 衣類

下着類、セーター、手袋など



● 洗面道具

(歯ブラシ、タオルなど)



● 救急医療品

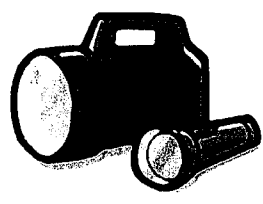
(消毒薬、傷薬、目薬、解熱剤、
包帯、絆創膏など)



持ちだし品チェックリスト ✓

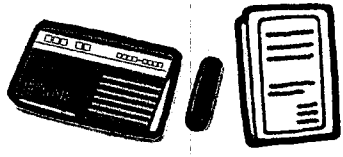
| | | | |
|----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 食料品 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 雨具・ヘルメット | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 衣類 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 洗面道具 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 救急医療品 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 貴重品 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ろうそく・マッチ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 携帯用ラジオ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| その他 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

● 懐中電灯

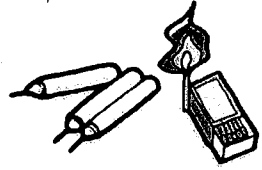


● 貴重品

(現金、通帳、印鑑、保険証など)



● ろうそく、マッチ



● 携帯用ラジオ

(FM付きがよい)



● その他

予備電池、ロープ、軍手、ナイフ、缶切りなど



いつでもすぐに持ち出せるように、非常食(カンパン・缶詰などの調理せずに食べられるもの)や飲料水を用意しておき、古くなっていないかなどのチェックもこころがけましょう。また、赤ちゃんがいる場合は、粉ミルクやほ乳瓶、紙おむつなど、要介護者の場合は、たんか、看護用品、常備薬、おむつなどを用意しておきましょう。

自主防災組織について

「自分たちのまちは自分たちで守ろう」というのが自主防災組織の基本的な考えです。地域住民の連帯意識に基づく自主的な防災組織の活動が行われれば、被害は最小限におさえることができます。これが「自主防災組織」です。

市民のみなさんの自発的な意志に基づき、町内会などの単位での「自主防災組織」が確立され、行政の防災対策と相互に連携することが必要不可欠です。町内会で話し合い、できることから始めましょう。

《自主防災組織の例》

情報班

- 災害情報の伝達
- 安否の確認

情報係

本部

町内会長

- 活動班との連絡
- 市役所、消防署などへの連絡

消火班

消火係

- 出火防止の呼びかけ
- 初期消火

《ある町内会の一例》

- 危険箇所の把握
- 避難先の把握



- 防災資機材の点検
- 救急講習の受講



町内会で
できる日常
の活動を行

- 市役所、消防署との連絡調整
- 研修会・防災訓練の実施

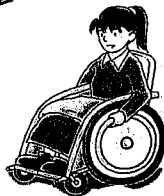


- 家庭内の安全点検の指導
- 消火栓などの点検



- 給水場所の把握
(井戸の設置場所など)

- 避難場所の周知
- 災害弱者の把握



救出救護班

- 生き埋め者などの救出
- 負傷者の応急手当

救出救護係

避難誘導班

避難誘導係

- 避難経路の安全確認
- お年寄りなどの避難誘導

給食給水班

給食給水係

- 食料などの配布協力

その5
ひとろめ

自主防災組織は、最も活動しやすい形、長続きする方法で行うことが大切です。例えば、町内会の行事に消火訓練を取り入れてみたり、景品に非常持出品を出してみたりといったふうに、楽しみながら自主防災の意識を高めていく工夫をしてみてもいいでしょうか？

自分たちのまちは自分たちで守ろう。防災組織をつくりましょう。

自主防災組織編